

# サロマ湖ウルトラマラソンあす号砲



発行所  
北海道新聞社  
郵便番号 060-8711  
札幌市中央区大通西3-6  
電話 011(221)2111  
©北海道新聞社 2015



## 4172人がエントリー



開会式で選手宣誓をする「サロマンブルーメンバー」の松下一彦さん(中央)

第30回サロマ湖100ギウルトラマラソンの開会式・ウェルカムパーティーが大会前日の27日夕、湧別町文化センター「さざ波」で行われた。100ギ、50ギの各部門に全国からエントリーした男女計4172人のうち、約千人が出席し、健闘を誓い合った。

北海道陸上競技協会(道陸協)と北見市、湧別、佐呂間両町、北海道新聞社、道新スポーツの主催。湧別総合体育館をスタートし、サロマ湖畔を巡って北見市常呂町スポーツセンターのゴールを目指す100ギの部には3604人がエントリー。

た男女計4172人のうち、約千人が出席し、健闘を誓い合った。



壇上で紹介された新しい「グランドブルーメンバー」

### 湧別で開会式

### 松下さん力強く宣誓

今回は、100ギの部で20回以上完走した「グランドブルーメンバー」に6人が、「サロマンブルーメンバー」には41人がそれぞれ新たに登録され、紹介された。これによりグランドブルーは26人、サロマンブルーは323人となった。

長内正数、鳥井朗、吉田洋一、三浦仁史(以上江別市)、坂本利幸(大空町)、須藤哲史(北見市)、大平美恵子(幌加内町)、米澤博史、北村博子(以上網走市)、峯田実(湧別町)、澤田貴之(東川町)、松山和成(茨城県)、泉弘、岩城純子(京都府)、瀬川勝、中島敏夫(埼玉県)、佐藤字(秋田県)、志村洋、中村明弘、柏谷一郎(神奈川県)、田中信貴、中村泰之(千葉県)、三木章次、野村孝子(大阪府)、小沢康広(長野県)、草西稔、二木明彦、小川浩幸、浅井勝、上田富康、高橋公成、西永宣昭(東京都)、杉野喜朗(奈良県)、柳詰克郎(福岡県)

この後、パーティーに移り、1998年6月の第13回大会で100ギの世界記録(6時間13分33秒)を出し、今も同記録保持者である砂田貴裕さんがスペシャルサポーターとして紹介された。

新メンバーは次の通り(敬称略)。▽グランドブルー 大輪幸雄、河村孝治、白井輝(以上札幌市)、西川政良、山田芳久(以上東京都)、米澤由紀(神奈川県)

▽サロマンブルー 長田幸雄、中村茂、横田正博、池浦仁、新谷英史、福井宏登(札幌市)、山田遼介(旭川市)、

長内正数、鳥井朗、吉田洋一、三浦仁史(以上江別市)、坂本利幸(大空町)、須藤哲史(北見市)、大平美恵子(幌加内町)、米澤博史、北村博子(以上網走市)、峯田実(湧別町)、澤田貴之(東川町)、松山和成(茨城県)、泉弘、岩城純子(京都府)、瀬川勝、中島敏夫(埼玉県)、佐藤字(秋田県)、志村洋、中村明弘、柏谷一郎(神奈川県)、田中信貴、中村泰之(千葉県)、三木章次、野村孝子(大阪府)、小沢康広(長野県)、草西稔、二木明彦、小川浩幸、浅井勝、上田富康、高橋公成、西永宣昭(東京都)、杉野喜朗(奈良県)、柳詰克郎(福岡県)

△ゴールを目指して▽ 湧別町の中心部を駆け抜けるランナー＝2014年



km  
1



△オアシス▽ 給水所で飲み水を差し出すボランティアの中学生＝2011年

<ゴールイン> 100kmを走りきった、まぶしい笑顔＝2011年

△歓喜の優勝▽ 前回の第29回大会の100km陸連登録者男子の部で2年連続3度目の優勝を飾った能城秀雄さん＝2014年



△笑顔が後押し▽ サロマ湖を背に沿道から声援を送る人たち＝2014年



# ウルトラマラソン



<これぞサロマブルー> 日差しを受けて青く輝くサロマ湖を横目にゴールを目指すランナー＝2013年



<ハマナスも応援> 60kmを過ぎたキムアネップ岬付近で出迎えてくれるハマナスの花＝2012年



発行所  
 北海道新聞社  
 郵便番号 060-8711  
 札幌市中央区大通西3-6  
 電話 011(221)2111  
 ©北海道新聞社 2015

100km先ゴールを目指し、スタートする選手ら=28日午前5時、湧別総合体育館前 (伊丹恒)

# 3827人がサロマ湖畔を快走



インターネットで道新ニュース  
[dd.hokkaido-np.co.jp](http://dd.hokkaido-np.co.jp)  
 ご購読申し込みは  
 0120-464-104

## 第30回ウルトラマラソン

100km男子 原良和選手が優勝



100km陸連登録者男子の部で優勝した原選手

第30回サロマ湖100kmウルトラマラソン(北海道陸上競技協会、北海道新聞社など主催)が28日、湧別、佐呂間両町と北見市にまたがるサロマ湖周辺のコースで行われた。100km陸連登録者男子の部は原良和選手が優勝した。100kmの各部門は午前5時、湧別総合体育館

前をスタートした。曇りながら穏やかで走りやすいコンディション。選手らは力を振り絞って北見市常呂町スポーツセンターのゴールを目指した。沿道では地元の人たちが声援を送り、給水所などでは約3000人のボランティアが活躍した。





# 北海道新聞

発行所  
**北海道新聞社**  
 郵便番号 060-8711  
 札幌市中央区大通西3-6  
 電話 011(221)2111  
 ©北海道新聞社 2015

100キロ先のゴールを目指し、スタートする選手ら=28日午前5時、湧別総合体育館前(伊丹恒)

# 3827人がサロマ湖畔を快走

## ウルトラマラソン 記念号

インターネットで道新ニュース  
[dd.hokkaido-np.co.jp](http://dd.hokkaido-np.co.jp)  
 ご購読申し込みは  
 0120-464-104



## 道新スポーツ

### 第30回ウルトラマラソン

100キロ男子 **原良和選手が優勝**

女子は望月千幸選手連覇

第30回サロマ湖100キロウルトラマラソン(北海道陸上競技協会、北海道新聞社など主催)が28日、湧別、佐呂間両町と北見市にまたがるサロマ湖周辺のコースで行われた。100キロ陸連登録者男子の部は原良和選手

(兵庫県)が6時間35分49秒(速報値)で、3年ぶり、2度目の優勝を果たした。同じく女子の部は望月千幸選手(大分県)が7時間36分39秒(速報値)で2連覇を成し遂げた。100キロと50キロの男女

別計6部門が設けられ、3827人が出走した。100キロの各部門は午前5時、湧別総合体育館前をスタートした。曇りがちながら穏やかで走りやすいコンディション。選手らは力を振り絞って北見市常呂町スポーツセンターのゴールを目指した。

沿道では地元の人たちが声援を送り、給水所などでは約3000人のボランティアが活躍した。



100キロ男子の部で優勝した原良和選手



100キロ女子の部で優勝した望月千幸選手

